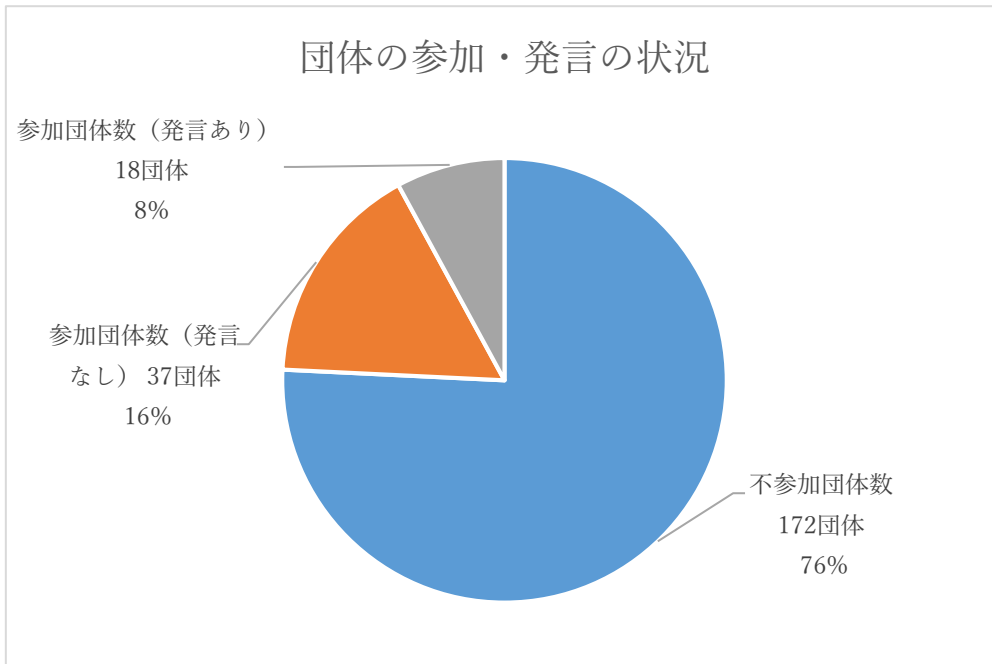


茅ヶ崎市民ギャラリー廃止・利活用方針に係る利用者説明会の結果について

- 1 開催通知を送付した利用者 227件（個人・団体）  
※ 令和元年4月1日から令和5年1月31日の期間に当該施設を利用された方に送付
  
- 2 参加団体数  
2月12日 32団体  
15日 24団体  
合 計 55団体  
※ 12・15日それぞれ1名ずつ出席の団体あり
  
- 3 発言団体数  
2月12日 10団体  
15日 8団体  
合 計 18団体
  
- 4 意見件数 65件



## 5 説明内容

- ・配付資料（１）に基づき、「利用者意見募集・パブリックコメント等主な意見に対する検討状況」について、主な意見毎に現在の施設等の状況及び検討状況を説明しました。

次に、まとめとして、「現在の検討状況について」の廃止時期、貸室毎の現在の検討状況を説明しました。

- ・利用者から作成の希望がありました類似機能を有する施設の一覧表について、配付資料（２）のとおり配付しました。
- ・配付資料（１）連番①②「現在の検討状況」に記載の市民文化会館会議室に創作機能を付加する改修案のイメージについて、スライドにより説明しました。

### 【スライドの内容】

市民文化会館第３・４会議室案内図

市民文化会館第３・４会議室写真

市民ギャラリー創作室BC、市民文化会館第３・４会議室比較表

市民文化会館第３・４会議室改修後イメージ（スポットライト設置・モデル着替えスペース設置・床ビニールタイルに張替）

隣接給湯室改修後イメージ（流し場設置）

隣接倉庫への備品転用後イメージ（イーゼル・木製椅子）

市民文化会館第３・４会議室改修後活用イメージ（モデルデッサンで使用した場合等）

## 6 利用者意見内容

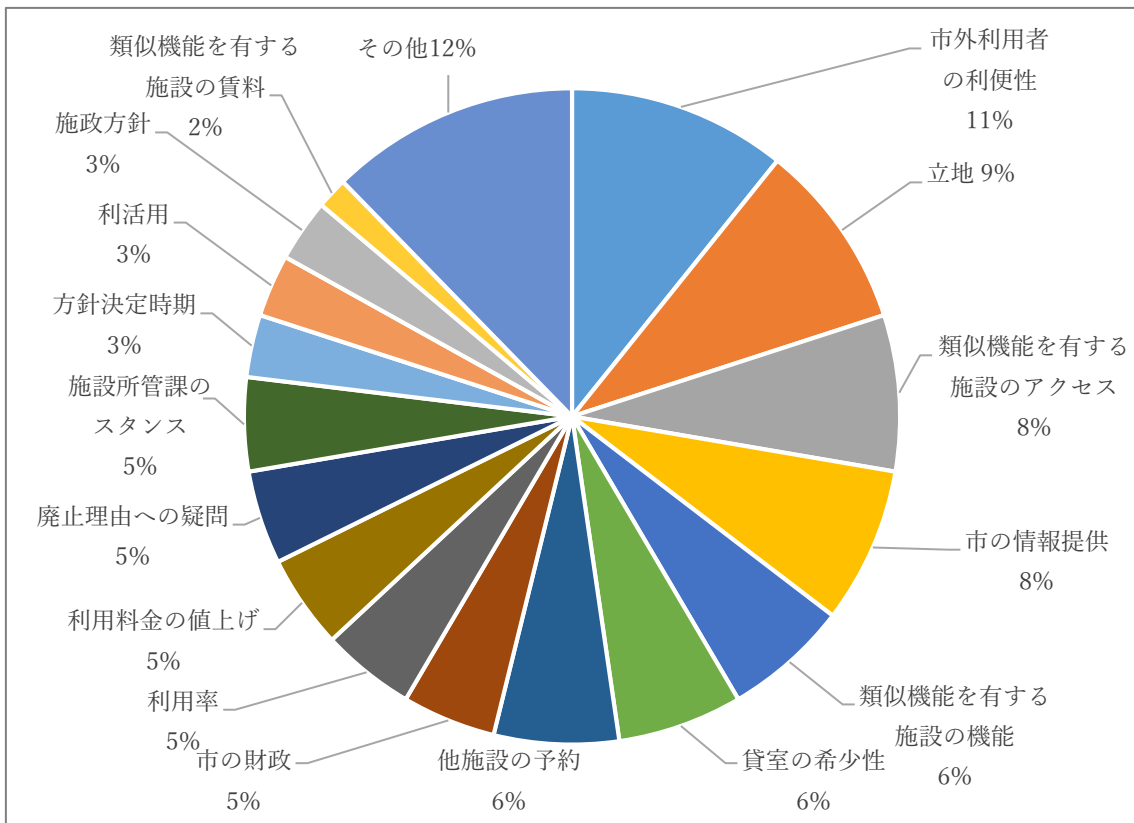
利用者からの主な意見は次のとおりです。

意見内容	主な意見	件数
市外利用者の利便性に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーを利用しているのは、遠方から来る方にもわかりやすいからである。</li> <li>・個展開催時、駅近のため市民だけではなく市外の方も来てくれる。</li> <li>・藤沢から箱根湯本等の市外在住者の会員が集まるには、立地が良い。</li> <li>・創作室は画家の方が中心になって造られていて、横浜から茅ヶ崎まででこれだけの施設はない。</li> <li>・市外会員がほとんどで、市内で昼食・買い物を行い、市に貢献している。他市は市外在住者への対応が厳しいため予約ができない場合があるが、市民ギャラリーは在住場所での利用制限がないため、進んでいる。</li> </ul>	7

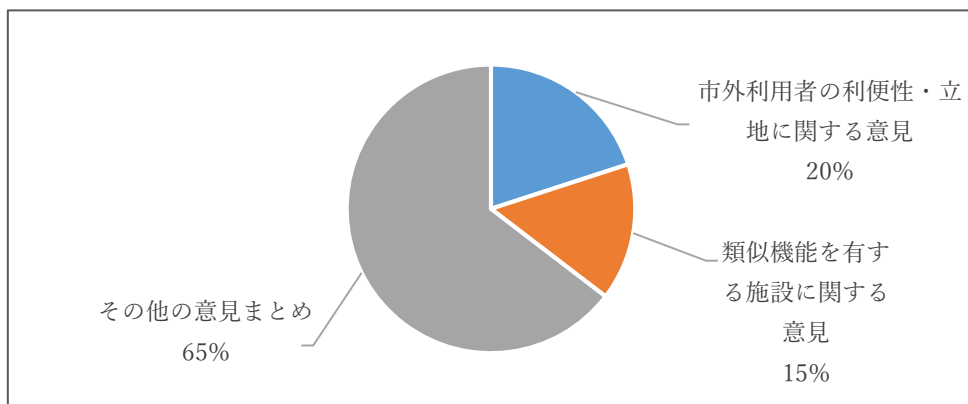
立地に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーは駅近のため通りかかった人が展示を見に来てくれる。(展覧会来場者の3分の1が該当)</li> <li>・駅近だと若者も寄りやすい。車いすの方が来場できるのは市民ギャラリーだけである。</li> <li>・他市に誇れる施設で、駅近に市民の学びの場があることが素晴らしい。</li> <li>・他自治体は市民サービスが駅近くへ集約している。 へんぴ 辺鄙な場所に公共施設を造るのではなく、駅近に作るべきである。</li> <li>・会員が高齢化しており、駅近でアクセスが良い市民ギャラリーは生涯学習の場として意味がある。</li> </ul>	6
類似機能を有する施設のアクセスに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民から不便という意見があるのであれば、マイクロバスを市民文化会館に回すべきである。</li> <li>・市民文化会館は、バスだと油彩・水彩は道具もあるので、20数名が一気に乗るのはいかなものか。徒歩の場合は地下道の上り下りがある。</li> <li>・高齢者に、市民文化会館には駐車場がある。駅からバスに乗り換えて行けば良いと片づけられるとこの問題は解決しない。</li> </ul>	5
市の情報提供に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月の利用者への意見募集の後、情報が入って来なかった。情報がない中、タウンニュースで廃止の延期を知った。次回説明会の開催を希望する。</li> <li>・市の計画の全体像が市民には見えない。今まで利用者が一同に集まって意見を発言する場がなかった。</li> <li>・利用者に説明不足である。(以前は市民集会等で市民に財政危機を伝えていた。)</li> <li>・類似機能を有する施設一覧の更なる情報掲載を希望する。</li> </ul>	5
類似機能を有する施設の機能に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化会館の会議室(創作機能付加後)は、油絵は流しに流さない等の条件で使用が可能となるのか。</li> <li>・市民文化会館の改修案は現実的ではない。(30名で描くにはせまい。カーテン1枚でモデルを着替えさせるのは失礼である。使用する度に机を畳んで移動するのは大変である。)</li> <li>・市民文化会館第3・4会議室の有効面積81㎡とあるが、机を寄せるとその面積は確保できないのではないのか。</li> </ul>	4

	<ul style="list-style-type: none"> <li>代案である改修を考えている市民文化会館会議室では狭く、会員の人数制限が必要となり、困る。</li> </ul>	
貸室の希少性に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に30名が活動できる大きな創作スペースはない。</li> <li>他市にも駅近のギャラリーはあるが、茅ヶ崎で美術の展覧会ができるスペースは宝だと思う。</li> <li>創作室はよくぞこのような立派な施設を造ってくれた。これを守っていただきたい。</li> </ul>	4
他施設の予約に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>各公共施設の予約方法の統一化を希望する。</li> <li>決まった曜日に講師を招いて活動しており、その曜日の類似機能を有する施設の空き状況を確認したら、大体予約が埋まっていた。市民ギャラリーでは、8割は予約が取れていた。</li> <li>市民ギャラリーが廃止されると、その他の施設を使用する場合、抽選で外れることが多いと思う。</li> </ul>	4
市の財政に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>人件費削減による市民ギャラリーの経費節減はできないか。</li> <li>箱物行政等、市の財政運営により緊急財政対策をやらざるを得なくなった。市民に負担を押し付ける受益者負担の考えはいただけない。</li> </ul>	3
利用率に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用率が下がってきているというが、コロナの状況を見無視しているのではないか。昭和50年代に建てた公共施設が多くある中でなぜ市民ギャラリーを選択したのか。(利用率が低いのは理由にならない。)</li> <li>1、2、6、7、8月は利用者が少ない。数字のマジックで、利用率を年間でならして、高い低いは言わないで欲しい。</li> </ul>	3
利用料金の値上げに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>経費の削減もさらに考えていただいて、稼働率を上げること、値上げをすること等を考えていただきたい。</li> <li>利用料金が値上げされても、市民ギャラリーを使用したい。</li> </ul>	3
廃止理由への疑問	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ギャラリーは、1人当たりのコストが他の公共施設と比較し少ないにも関わらず、なぜ廃止の対象となったのか。</li> <li>少子高齢化を謳い文句にして、市民の財産から利益を上げるということを前提に進められていることに疑問を感じる。</li> </ul>	3

施設所管課のスタンスに関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止への努力ではなく、市民ギャラリーを残す努力をして欲しい。</li> <li>・文化生涯学習課はバックアップする課なのに、場所を奪う話をする事自体に違和感がある。</li> </ul>	3
方針決定時期に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつになったら市の検討が終わるのか不安である。</li> </ul>	2
利活用に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間に貸し出すよりも、文化施設として収支のバランスを良くする努力が必要である。(夜間の時間帯に若者に使用してもらう工夫等)</li> </ul>	2
施政方針に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長が「文化都市茅ヶ崎市を目指す」と言っていたが、市民ギャラリーを残すことが市の最大の誇りとなる。</li> </ul>	2
類似機能を有する施設の賃料に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化会館は貸室以外に照明等の備品の利用料金もかかるため割高になる。</li> </ul>	1
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者のためのボランティアをやっており、茅ヶ崎の障がい者への貢献は絶大である。私たちの市民ギャラリーでの月1回の会議が制限されると障がい者への貢献が低くなる。</li> <li>・5年間経てば人の入れ替わりがあるので、5年間は廃止しないことを検討して欲しい。</li> <li>・財政困難だから市としては継続ができないということだから、答えはすでに出ている。</li> <li>・市の資料（パブリックコメント資料の1人当たりの利用料金・利用率）の作り方が杜撰である。</li> <li>・藤沢市のように駅近の商業施設に市民ギャラリーを設置する案はないのか。</li> <li>・70～80代の高齢者を基本に検討して欲しい。</li> </ul>	8



- ・説明会に参加された55団体のうち、発言された18団体のほとんどが市民ギャラリー存続希望の主張をされていました。
  - ・意見としては、駅近で市外の方もアクセスしやすいこと、利用者登録において市外在住者の制限がないこと等、市外利用者の利便性に関する意見や、高齢者や車いすの方も使用しやすい、立ち寄りやすいという立地に関する意見を最も多くいただきました。これらアクセスに関わる意見は、全体の約20%でした。
- 次に多かったのは、類似機能を有する施設に関する意見（アクセス・機能・賃料）で、全体の約15%でした。



- ・本説明会にていただいた意見を踏まえながら、引き続き方針の検討を続けてまいります。